

平成27年度事業報告

県内における平成27年中の刑法犯認知件数は、警察、防犯関係団体等の努力により6,115件（前年比－108件）と14年連続で減少しました。

刑法犯認知件数が減少する中で、いわゆる「なりすまし詐欺」等、特殊詐欺被害は過去最悪となった前年より約1億6千3百万円減少したものの、約3億7千4百万円にのぼり、また、県民の生活に欠かせない自動車に関するタイヤ盗や車上狙い、ストーカーやDV被害も増加しました。

富山県防犯協会では、富山県の安全・安心に向け、県警察、自治体、地区防犯協会、事業者、防犯ボランティア等、関係機関・団体及び地域住民との連携を図りながら犯罪防止に向けた防犯教室やパトロール活動、広報啓発チラシ等の作成・配布など諸活動を進めました。

今後も「犯罪のない安全・安心な富山県」の実現を目指し、県、警察、防犯関係機関・団体等との協働による犯罪防止活動を積極的に進めることとしています。

平成27年度に推進した事業内容は、次のとおりです。

事業名		事業内容
1 防犯活動推進事業	(1) 防犯研修・講習事業	<p>ア 子ども対象防犯教室の開催 こども安全サポーター（3名）が、子どもを犯罪被害から守るため県内の小学校、幼稚園、保育園等の要請により出向いて防犯教室を開催した。 講習は、年間243回（対象約24,000人）で誘拐、わいせつ事案等からの被害防止、不審者への対処要領、防犯資機材（110番ブザー・防犯ホイッスル等）の使用方法やこども110番の家の活用方法等を指導した。</p> <p>イ 一般対象防犯出前講習会の開催 防犯サポーター2名が各地区防犯協会、市町村、まちづくり推進センター、防犯関係機関・団体等からの派遣要請により各種防犯研修会等に出向き防犯講習を実施した。（26回・約1,900名）</p> <p>ウ 地区防犯協会事務局長会議・研修会の開催 4月17日（金）、県市町村会館において地区防犯協会事務局長（15名）を対象に防犯対策、自主防犯団体の指導育成方策等を主な内容とした研修（講習）会を実施した。</p> <p>エ 県防犯連絡所協議会連合会総会・研修会の開催 6月23日（火）、県市町村会館において各地</p>

		<p>区防犯連絡所協議会の会長等(38名)を集め、年間の活動方針等を協議するとともに防犯連絡所活動のあり方等について研修した。</p> <p>オ 県防犯パトロール隊連絡協議会総会・研修会の開催</p> <p>6月25日(木)、県市町村会館において各地区パトロール隊の代表者及び各地区連絡協議会の会長、副会長等(49名)を集め、年間の活動方針等を協議するとともにパトロール活動のあり方等について研修した。</p> <p>カ 県金融機関防犯協会理事・幹事会の開催</p> <p>5月27日(水)、警察本部において県内の金融機関防犯協会会員である理事・幹事(本店等の代表者約35名)を集め、年間の活動方針等を協議するとともに金融機関として防犯対策について研修した。</p> <p>キ 県コンビニエンスストア等防犯協会総会の開催</p> <p>7月10日(金)、県民会館においてコンビニエンスストア等の管理者等を集め、総会を開催するとともに強盗等の凶悪事件発生時の対処方法、未然防止対策等について講習した。</p>
	(2)防犯巡回事業	<p>ア 犯罪抑止の巡回パトロール活動</p> <p>民間パトロール隊と連携し、犯罪発生状況を踏まえて事件・事故多発地域や時間帯を選定して青色回転灯装備車両等によって巡回パトロールを実施した。</p> <p>また、防犯サポーターによる駐輪(車)場、スーパー、遊技場等を対象とした巡回パトロールを実施し、自転車盗や万引等、少年の非行防止も含めた防犯活動を推進した。(99回)</p> <p>イ 通学路パトロール(巡回)活動</p> <p>こども安全サポーター(3名)、防犯サポーター(2名)が、児童への声かけ事案や不審者情報に基づき、主として通学路付近を中心に下校時間帯の巡回パトロールを実施し、子どもに対して、危険箇所の周知に努めた。(82回)</p> <p>ウ 中・高校等駐輪場の施錠率実態調査</p>

		<p>「カギかけコンクール」実施に伴い、県内の中・高校等の駐輪場を警察本部員と防犯サポーターが巡回し施錠実施率の実態調査及び施錠推進広報を実施した。(6回)</p>
	<p>(3)防犯普及啓発事業</p>	<p>ア 各種広報資料の作成配布等</p> <p>(ア) 「地域安全とやま」(当協会や関係団体の自主防犯活動を紹介した機関紙)を年3回(各1万部)作成し、県内の関係機関・団体等に配布した。</p> <p>(イ) 防犯ボランティアの活動を促進するため、「防犯サポートブック」等小冊子を作成し、配布した。</p> <p>(ウ) 振り込め詐欺等多発犯罪被害予防ポスター・チラシ、チラシ入りマスクを作成配布した。</p> <p>(エ) こども防犯用資料(幼児・児童向け～マンガやぬり絵、保護者向け～犯罪から子どもを守る)を小学校等での防犯教室にあわせ配布した。</p> <p>(オ) 他団体が作成したチラシ等(薬物乱用防止を訴えるもの等)を配布した。</p> <p>(カ) 視聴覚教材(DVD「ドラック勧誘のテクニック」、「だまされませんその電話」等)を貸出した。</p> <p>イ 各種防犯情報の提供</p> <p>金融機関・コンビニエンスストア等とのFAXネットワークを活用し、特殊詐欺等の発生に伴う注意喚起、窓口対策の強化などを要請した。</p> <p>ウ 全国地域安全運動富山県民大会等の開催</p> <p>10月8日(木)、富山国際会議場で県、警察、当協会の3者合同による「第11回県安全なまちづくり推進大会(主催は県(県警))・第22回全国地域安全運動県民大会」を開催し、防犯活動の普及啓発に努めた。</p> <p>エ 各種関係機関、団体の会議等への出席</p> <p>(ア) 全防連関係(3件)</p> <p>(イ) 県等関係機関、団体関係(20)</p>
	<p>(4)防犯ボランティア団体支援事業</p>	<p>ア 防犯ボランティア団体研修会等への講師派遣</p> <p>県内の民間防犯ボランティア団体に、当協会職員を講師として派遣し、犯罪発生状況、防犯対策、</p>

		<p>防犯パトロール活動要領を講習した。</p> <p>イ ボランティア保険への加入事務 民間パトロール隊員等のボランティア保険への加入に努めた。(19,058人加入)</p> <p>ウ 地区防犯協会への助成事業 各地区防犯協会の防犯活動を支援するため活動費の一部を助成した。</p> <p>エ 各防犯ボランティア団体との事業の共催 3地区防犯協会と講習会、啓発活動の共同開催を行った。</p>
	(5)防犯功労者等表彰事業	<p>下記の功労表彰を実施した。</p> <p>ア 防犯功労団体表彰(8団体)</p> <p>イ 防犯功労者表彰(15名)</p> <p>ウ 優良防犯連絡所(14名)</p> <p>エ 地域安全功労警察官(3名)</p> <p>オ 防犯ポスター及び防犯標語入選者表彰(25名)</p> <p>※ 上記、表彰のほかに全国防犯協会連合会表彰で1団体及び個人9名、中部防犯協会連絡協議会表彰で3団体及び個人6名が受賞した。</p>
2	風俗環境適正化事業	<p>ア 風俗営業管理者定期講習の開催 5月から12月まで8回開催し、185名が受講した。</p> <p>イ 許可申請及び構造変更申請に伴う現地調査 警察署からの調査依頼に基づき、新規許可申請31件、構造変更申請4件の計35件実施した。</p>
3	防犯関連商品等取次事業	<p>ア 古物商の標識板</p> <p>イ 金融機関対象の防犯装備資器材 金融機関に対して、主として強盗事件が発生した場合の対策用のクラックボール等を取次</p> <p>ウ パトロール隊員対象の防犯装備資器材 パトロール活動の効果向上及び円滑化を図るための防犯腕章等の取次</p>
4	法人管理事業	<p>ア 理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月26日(火)、縣市町村会館において第1回理事会を開催し、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告、定時評議員会開催(案)、参与の選任(案)等を審議し、議決した。

- ・ 28年3月1日（火）、県市町村会館において第2回理事会を開催し、平成28年度事業計画（案）、平成28年度収支予算（案）等を審議し、議決した。

イ 評議員会

6月16日（火）、県市町村会館において評議員会を開催し、平成26年度決算、評議員補欠選任（案）及び理事補欠選任（案）を審議、議決するとともに、平成26年度事業報告及び副会長、顧問の変更と参与等任意役員の選任と賛助会員の退会について報告した。

ウ 法人事務会計

28年2月23日（火）県主催の公益法人制度説明会に出席。

エ 各非常勤役員への業務説明

専務理事から非常勤役員へ適宜業務状況を説明。

